

全国ミニバスケットボール大会出場



第52回全国ミニバスケットボール大会に出場した中野蒼真さん（大口中学校1年）が大会前に鈴木町長を表敬訪問をしました。

中野さんは県内の強豪チーム「犬山バスケットボールクラブ」（犬山市）に所属し、ガードのポジションで活躍しています。

将来の夢はNBA選手。鈴木町長は、「その成長し、夢に向かってがんばってください。応援しています」とエールを送りました。

3/19
金

ありがとうございました



丹羽ライオンズクラブ会長 大数伸康さんから、便王（簡易トイレ）のご寄贈をいただきました。避難所である小中学校に備え、災害時に有効活用させていただきます。

2/17
水

入学おめでとうございます



商工会女性部が役場を訪れ、新人生のお祝いとして布製巾着袋約300枚を寄贈しました。

一つ一つ丁寧に作られた巾着袋は、常任委員7名が手作りしたもので、大口町のシンボルでもある桜が添えられています。「子どもたちの健やかな成長を願い製作しました。お役に立てれば幸いです」と部長の仙田孝子さん。各小学校を通じて新入学児童に配られます。

3/22
月

大口町監査委員に再任

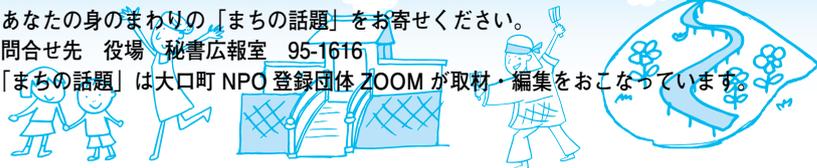


4月1日付で後藤滋幹さんが、大口町監査委員に再任されました。任期は、令和7年3月31日までです。

後藤監査委員には、引き続き市民の皆さんに代わり、大口町の財務事務や事務の執行等が公正で合理的かつ効率的におこなわれているかを監査する役割を担っていただきます。



あなたの身のまわりの「まちの話題」をお寄せください。
 問合せ先 役場 秘書広報室 95-1616
 「まちの話題」は大口町 NPO 登録団体 ZOOM が取材・編集をおこなっています



おおぐち観鋭桜を植樹

町のシンボルとして皆さんに愛されている大口町の五条川堤の桜は、現在約1600本植えられています。が、植樹から60年余たった今、衰えや台風の被害などで年間約50本が減っています。

今回、大口町は次世代に受け継ぐ町の古来種である『おおぐち観鋭桜』を、桜の保全活動をされている「中小口倶楽部」「大口環境を守る会」の皆さんと協力して補植をおこないました。

「私は、60年前も五条川堤で桜の植樹をしました。今回で2回目です。大きく育ちきれいな花をさかせて欲しい」と、大口環境を守る会の服部さん。

3 / 26
金



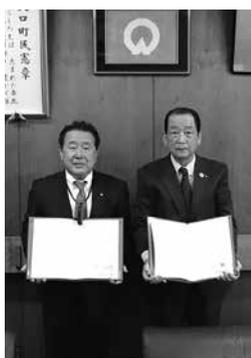
災害時の停電に「走る蓄電池」エコカーで電力供給支援

大口町は、トヨタカローラ愛知(株)、(株)東海理化電機製作所の2社と災害時の支援協定を結びました。トヨタカローラ愛知(株)は災害時、同社が所有するエコカーと外部給電に必要な機器を避難所などへ派遣して住民生活を支援。(株)東海理化も電力源としてPHV車両や防災備蓄品を避難所などに提供します。

鈴木町長は「大規模自然災害の最悪の事態を想定する中で、皆さんのお力をお借りし、エネルギー供給の支援が受けられるということはとてもありがたいです」とお礼を述べました。



▲(株)東海理化電機製作所 代表取締役社長 二之夕裕美さん



▲トヨタカローラ愛知(株) 代表取締役社長 野崎孝さん